

ブレイブ・ブロッサムズ (BRAVE BLOSSOMS) の 勇敢な桜戦士達になろう

～技術士（建設部門：道路）～

1. はじめに

史上初のベスト8入りを果たしたラグビー日本代表のリーチ主将は、「ベスト8に行ったこと、すごく嬉しいです。そのために選手やその家族、いろいろな人がたくさんの犠牲を払ってきました。」と言いました。

技術者も同様に、自分を信じて努力をしてきた者は、きっと技術士の称号を得られるのだと思います。

2. 受験の動機・経緯

私は、昭和62年に旧建設省に入省して以来、道路行政に30年以上携わってきて、様々な課題にぶつかりました。その都度、休日出勤、深夜に至る業務など、家族との団らんを犠牲にして、努力を重ねて様々な課題を解決し、目標を達成してきたと自負しています。

しかし、その努力と成果を知っているのは、自分と家族、そして苦楽を共にした一部の仲間のみであり、いつかは「ただの人（公務員OB）」となるのです。

そのため、今まで経験して身に着けてきた技術を技術分野の最高位の国家資格である「技術士」という形で得たかったというのが率直な動機です。

また、何故このような歳になるまで受験しなかったのかを考えると、多忙な業務にかこつけて、自分の時間管理を行わず、資格試験から逃げていたのだ

と思います。大切なことは「合格」ではなく、資質向上に向けて「努力」すること。合格は努力した結果としてついてくる、そのように思い試験にチャレンジしたのです。

3. 筆記試験における留意点と学習のポイント

私が受験したのは、平成29年度の一次試験と平成30年度の二次試験です。一次試験には基礎科目、適正科目、専門科目とありますが、専門科目は自分の専門分野のみでなく、河川、砂防、ダム、鉄道、都市など、すべての分野の過去問を何度も解き、サービス問題を逃さないように努めました。また、鬼門の基礎科目は過去問を諦めずに解くこと、頭にたたき込むことだと思います。実際、基礎科目の勉強はつらかったのですが奇跡的にパーフェクトでした。挫けそうになっても諦めないことが重要です。

二次試験の必須科目は選択問題から記述式に変わっています。国土交通白書で基礎的な専門知識を得つつ、ホットな話題である「国土強靱化」「生産性革命」「働き方改革」「同時多発的大規模災害」「水防災意識社会」など掘り下げて勉強し、選択科目もふくめてキーワード毎に「背景」「課題」「対応策」「留意点」を自分なりに整理して理解することが重要だと思います。なお、選択科目に関する審議会の答申等は、国土交通省HPで必ず確認して勉強しました。日常業務が何の目的で行っているかなど理解

が深まり、良い成果に繋がると思います。

4. 口頭試験における留意点と学習のポイント

口頭試験の定番である「いつ、どこから来たのか」「技術士資格受験の動機と今後の抱負」「経歴と詳細業務の説明」の問いは一切なく、いきなり、全ての経歴について質問されました。経験年数が多い方は注意が必要かと思います。

私の受験は試験方法の改訂前であり、経歴、詳細業務、技術士倫理、技術士制度について、想定問答を作成しました。中国技術士会の諸先輩方から想定問をもらい、また、口頭模擬試験も実施して頂けたため、しっかりと準備して望めたと思います。

二次試験合格者の1割程度の方は落ちているようです。大切なことは気を緩めないこと、しっかりと準備をして望むこと、問われていない事までベラベラと喋らないこと、会話のキャッチボールに努めることかと思います。

なお、口頭試験の試問事項が改訂され、「コミュニケーション」「リーダーシップ」「評価」「マネジメント」「技術者倫理」「継続研鑽」と変更されています。これらを意識した想定問答を作るよう留意することが必要だと思います。

5. おわりに～受験者へのアドバイス等～

建設部門（道路）の技術士に合格し、令和元年度の総合技術監理部門にチャレンジしましたが、選択



東広島市 都市部長

かまた ゆうすけ
鎌田 裕介

（取得した資格：技術士（建設部門：道路）
資格取得年度：令和元年度（平成30年度試験））

問題が57.5%と60%に届かず、記述式の論文は十分に手応えがあったものの見事に不合格となりました。合格するかもしれないと期待していただけに落胆はしましたが、さほど悔しさがありません。ブレイブ・ブロッサムズが南アフリカのスプリングボクスに負けたときの方がより悔しく、「まだまだ、何かを犠牲にするまでの努力が足りなかった。甘くはないぞ！総監も。」といった心境です。ブレイブ・ブロッサムズの勇敢な桜戦士達を見習い、いつの日か総合技術監理部門の技術士の称号が得られるよう、継続的に努力していこうと思っています。

民間の方々は多忙な業務のなか、資格取得に励み、資質向上に努力されています。我々公務員も「ただの人」とならないように、一緒に頑張りませんか？